

BI-3-iii-09	環境学B	第3学年	後期 選択必修	0.5単位
担当者	高橋（典）・高橋（勝）・渡辺（聡）			
一般目標（GIO）	人々の健康にとって良い環境の維持と公衆衛生の恒常に公的機関等で貢献できるようになるために、生活環境と健康との関わりにおける基本知識と技能を修得する。			
到達目標（SBOs）	地域の生態系や生活環境を保全、維持できるようになるために、化学物質と薬毒物の成因、測定法、生体への影響、汚染防止、汚染除去などに関する応用事項を修得する。			
受講心得・準備学習等	授業内容は3,4年次に行われる衛生学II,IIIと重複する点があるが、本授業では公的機関などに就業し、公衆衛生の維持に貢献することも視野に入れ、より実践的な知識・技能を早期に習得することを主たる目的とする。その旨を心得て、授業に望むこと。			
事後学習・復習等	受講日の内に復習することが望ましい。			
オフィスアワー	講義の日の17:00～18:00、メールによる質問・相談は、随時受け付ける。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義
回	項目	内容
1	土壌汚染 (1)	化学物質の毒性
2	土壌汚染 (2)	安全性評価
3	土壌汚染 (3)	化学物質の適正使用
4	放射線	電離放射線の生体影響
5	薬物乱用	代表的な乱用薬物と作用
6	法規制、まとめ	化学物質の法規制、本授業のまとめ

成績評価の方法	授業内で行うテストの成績を基に判断し評価する。
成績評価の基準	授業内テストの成績を基に、60%以上を単位認定と判定する。
教科書	日本薬学会 編「スタンダード薬学シリーズ II 5 健康と環境」(東京化学同人)
参考書など	藤川 福二郎 編「最新裁判化学」(南江堂) 市川 厚監修「マッキー生化学」(化学同人) 井出 速雄、武田 健 編「衛生薬学—新しい時代—」(廣川書店)